

スギ・ヒノキ花粉飛散予測のまとめ

1 各調査手法によるスギ・ヒノキ花粉の飛散数予測

表 1 予測数まとめ（個／c m²／シーズン）

観測点 区市名	予測 A （倉本委員） （資料 2 参照）	予測 B （村山委員） （資料 3 参照）
千代田	5,797	5,817
葛飾	5,786	5,557
杉並	7,056	7,358
北	5,840	5,604
大田	5,785	5,588
青梅	14,753	14,990
八王子	9,352	8,205
多摩	7,559	7,695
町田	5,390	4,909
立川	6,976	9,546
府中	4,707	5,622
小平	3,568	3,653

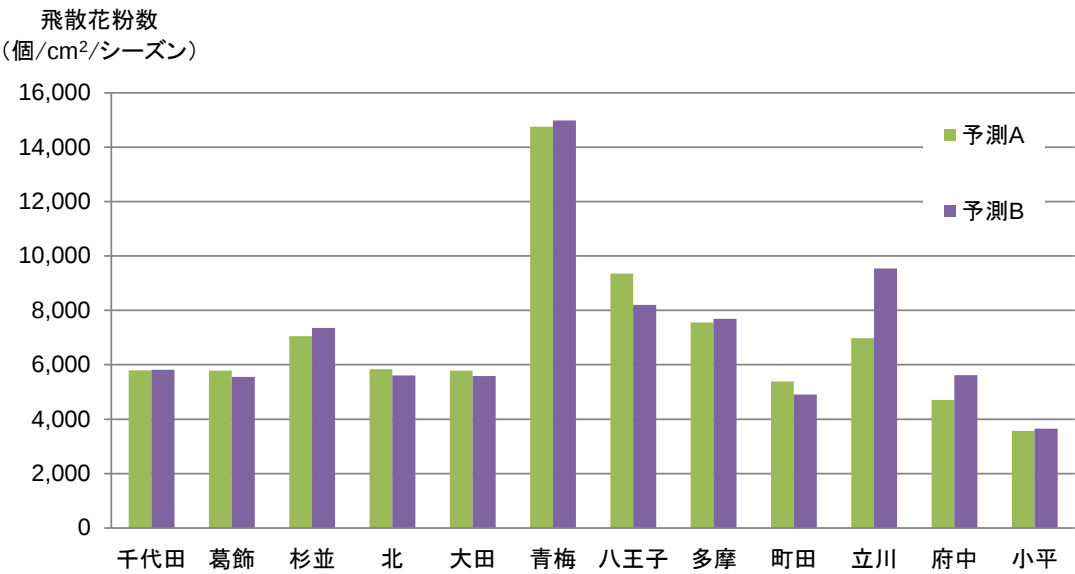


図 1 飛散数予測の比較

2 予測の調整

表2 各予測と予測幅案（個／ cm^2 ／シーズン）

測定点 区市名	予測A (倉本委員)	予測B (村山委員)	予測C (調整後)	下限※	上限※
千代田	5,797	5,817	5,807	4,936	6,678
葛飾	5,786	5,557	5,672	4,821	6,522
杉並	7,056	7,358	7,207	6,126	8,288
北	5,840	5,604	5,722	4,864	6,581
大田	5,785	5,588	5,687	4,834	6,540
青梅	14,753	14,990	14,872	12,641	17,102
八王子	9,352	8,205	8,778	7,461	10,095
多摩	7,559	7,695	7,627	6,483	8,771
町田	5,390	4,909	5,150	4,377	5,922
立川	6,976	9,546	8,261	7,022	9,500
府中	4,707	5,622	5,164	4,390	5,939
小平	3,568	3,653	3,610	3,069	4,152

※ 予測Cの±15%（小数点以下四捨五入）

飛散花粉数
(個/ cm^2 /シーズン)

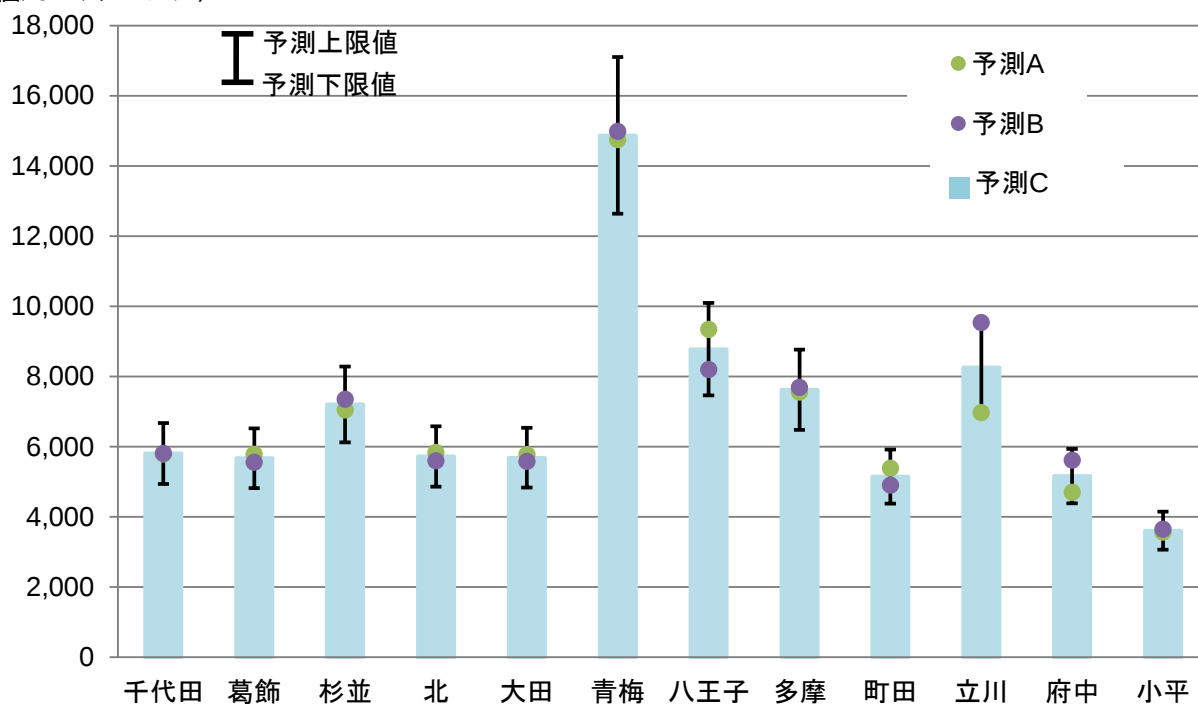


図2 予測幅案と各予測との比較

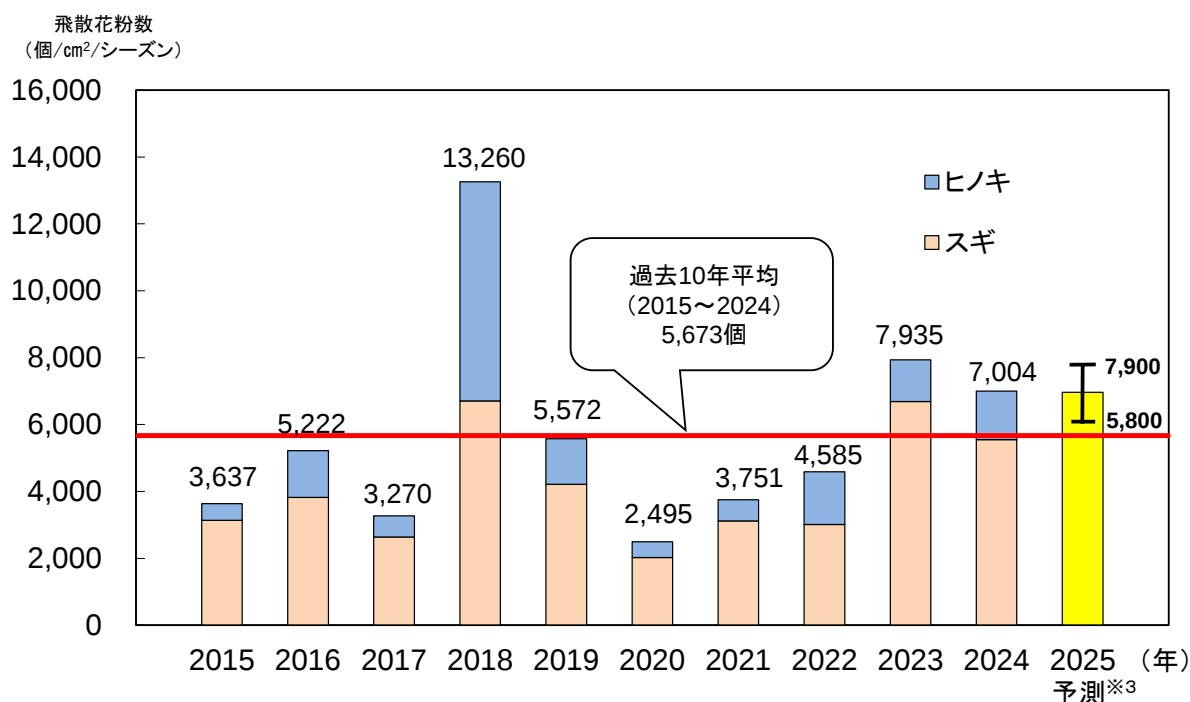
3 スギ・ヒノキ飛散花粉数予測のまとめ

表3 飛散花粉数

測定点 区市名	2025年 飛散花粉数予測値※1	2024年比 過去10年平均比	2024年 飛散花粉数	過去10年の 平均飛散花粉数	過去の 飛散花粉数※2	
					最小値	最大値
千代田	4,900 ～ 6,600	0.9～1.2 0.9～1.2	5,723	5,329	277	11,465
葛飾	4,800 ～ 6,500	0.9～1.2 0.9～1.2	5,238	5,345	136	11,959
杉並	6,100 ～ 8,200	0.8～1.1 0.9～1.2	7,476	6,622	118	14,614
北	4,800 ～ 6,500	0.9～1.2 0.9～1.2	5,228	5,420	242	11,707
大田	4,800 ～ 6,500	0.9～1.2 0.9～1.2	5,269	5,397	148	12,481
区部平均	5,000 ～ 6,800	0.9～1.2 0.9～1.2	5,787	5,622	—	—
青梅	12,600 ～ 17,100	0.8～1.1 1.1～1.5	15,764	11,294	125	37,899
八王子	7,400 ～ 10,000	1.1～1.4 1.1～1.5	6,951	6,876	142	24,958
多摩	6,400 ～ 8,700	0.8～1.1 1.1～1.5	7,767	5,631	1,035	21,565
町田	4,300 ～ 5,900	1.0～1.4 1.1～1.5	4,352	3,863	215	18,914
立川	7,000 ～ 9,500	0.7～0.9 1.3～1.7	10,115	5,579	1,292	19,969
府中	4,300 ～ 5,900	0.7～0.9 1.1～1.5	6,472	3,934	772	15,914
小平	3,000 ～ 4,100	0.8～1.1 1.1～1.5	3,692	2,787	291	12,345
多摩地域平均	6,400 ～ 8,700	0.8～1.1 1.1～1.5	7,873	5,709	—	—
都内平均	5,800 ～ 7,900	0.8～1.1 1.0～1.4	7,004	5,673	—	—

※1 花粉数の単位は、花粉飛散シーズン中に花粉捕集器（ダーラム型）のスライドグラス1平方センチメートル内に付着した花粉の個数で表します。

※2 過去の飛散花粉数（最大値、最小値）は都の観測開始（1985年）以降のものです。なお、千代田は1990年以降、小平は1997年以降、多摩・立川・府中は2005年以降のものです。

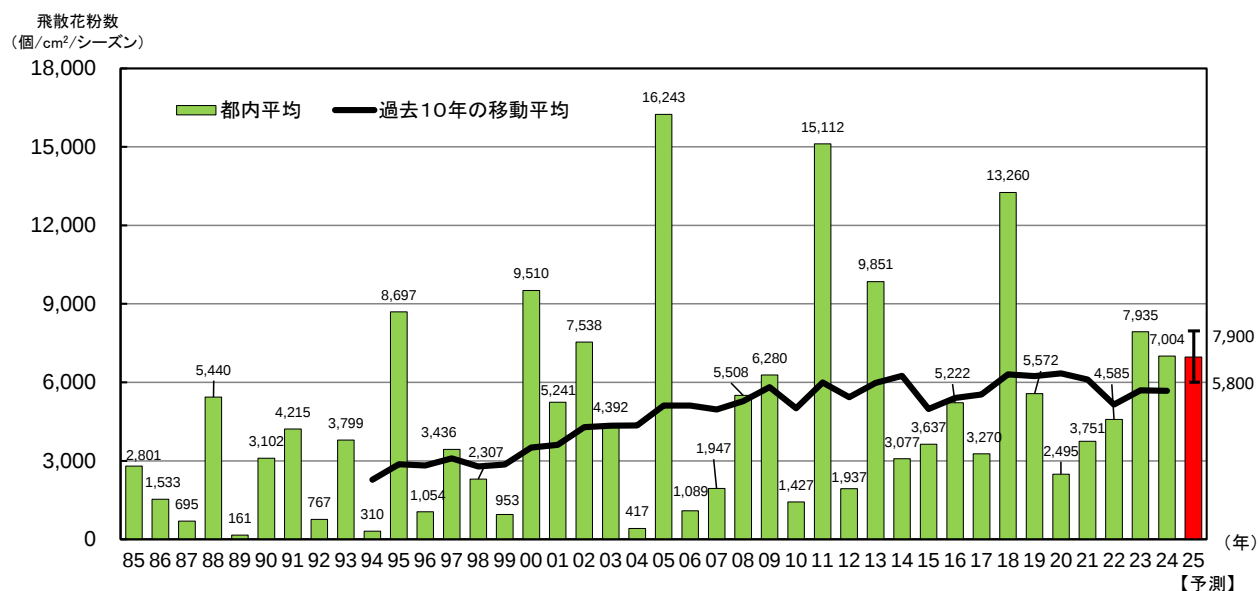


※3 スギ・ヒノキ飛散花粉数は、前年夏の日射量や秋のスギ花芽の着花状況などによって予測しています。予測値は、スギとヒノキの合計値です。

図3 飛散花粉数の経年変化（都内12地点平均）

4 飛散花粉数の経年変化※4

都内の飛散花粉数の経年変化を見ると、過去10年平均は横ばいですが、年によって飛散量の差が大きい傾向にあります。（図4）



※4 1990年に千代田で測定開始、1997年に小平で測定開始、2005年に多摩、立川、府中で測定を開始しました。2005年以降は、現在の12地点で測定を行っています。

図4 飛散花粉数の経年変化

5 飛散花粉数が多い日^{※5}の予測について

調整後の飛散花粉数の予測値に基づき、村山委員が行った各地点の飛散花粉数が多い日の予測を表4に示します。

飛散花粉数が「多い（30 個以上）」の日数は、区部で 37 日程度、多摩地域で 46 日程度となる見込みです。都内平均では、42 日程度となり、前年の 39 日より 3 日多く、過去 10 年間の平均の 35 日より 7 日多くなる見込みです。（表 5）

表 4 各測定地点の飛散花粉数が多い日の予測（単位は日数）

観測地点	千代田	葛飾	杉並	北	大田	青梅	八王子	多摩	町田	立川	府中	小平
日数	36	35	44	35	35	79	48	45	32	54	35	26

（データ提供：村山貢司氏）

表 5 飛散花粉数が多い日の予測（単位は日数）

	2025 年予測 ^{※6}	2024 年	過去 10 年平均
区部	37	39	37
多摩地域	46	40	33
都内平均	42	39	35

※5 飛散花粉数が多い日とは、花粉捕集器（ダーラム型）で測定した数値が 1 日あたり 30 個/cm²以上の日

※6 村山委員が行った予測（表 4）から算出

6 飛散開始日^{※7}について

大田の観測地点で 1 月 8 日を飛散開始日として確認しました。

※7 飛散開始日の定義は、「一観測地点で、1 月以降にスライドガラスの 1 平方センチメートル内にスギ花粉が 1 個以上捕集される日が、原則として 2 日以上続いた最初の日」としています（日本花粉学会「花粉情報標準化委員会」の合意事項に準拠）。